

桜川再発見！

## どこまでも田んぼ 一面田んぼ

## この風景が好き・・・

地域おこし協力隊 山本藤子さんを訪ねて



8月の末、四箇来栖の地で農家民宿『INASHIKI NEST』を営んでいる山本さんを訪ねました。手作りの看板を過ぎると、心地よく流れる風が青い暖簾を揺らしていました。海外20ヶ国以上を訪ねたという彼女が、地域おこし協力隊として選んだのがここ稲敷。(なぜ・・・?)

海外の人を呼んで農家民宿をやってみたかったという。実家の東京からも近く活動の自由度が高かったこと。温かな担当職員との出会いがきっかけだった・・・とか(^^)

許可を取り念願の農家民宿をスタートさせるもコロナ禍の影響は大きく、海外からの方を呼ぶことはもちろん、表立ってPRすることも、田舎体験を提供したいという思いも、なかなか叶いません・・・。



それでも「子どもたちがはしゃぐ大きな声が響き渡ると、この家が空き家だったことが嘘のようで」と彼女は話す。多くの国を訪ねるエネルギーや、知らない土地で農家民宿を営もうとする力が、華奢な彼女のいったいどこにあるのだろう。

どうしてここへ来たのか、ひとりでは無理だよと、はじめは驚かれた。畑に居ると肥料や苗を分けてくれる人がいる。畑を耕してくれる人がいる。世間話の途中で炬燵が壊れたと何気なく話したら、すぐに知り合いに連絡をして直してくれたという。いろいろな人に支えられているのだと笑う。

風の流れる部屋、青いバタフライピーのお茶をいれてくれた。一口飲んだ後に、少しだけレモネードを注ぐ。お茶はきれいなピンク色に変わってゆく。ゆったりと流れる時間の中、こんな不思議な体験をしてもらいたい。彼女の願いが叶う日が、一日でも早くきてほしい。

広報いなしき9月号でお知らせした後期公民館講座「シニア世代のための Zoomデビュー」は彼女が先生です。今、彼女の英語力をこの地域で使わせてもらえるよう企画を考えています。彼女はこの地域の新しい力です。



公民館へ行こう！

子育てがちょっぴり楽しくなる

## Mama's cafe さくら

### 10月の予定

日時: 10月24日(日) 午前10時から11時

対象: 桜川地区在住の小学校へ入る前のお子さんとママ

内容: 絵本の選び方とお話の世界 ~ママも読み聞かせ体験しましょ~

講師: 市立図書館司書 奥山 啓子 / 本読みむらさくらがわ有志

絵本の持つ力・絵本の選び方・本について困っていることなど司書さんに聞いてみよう！  
子どもたちもビックリ!? 大型絵本の読み聞かせ

締切: 10月10日(日) 参加費: 無料

問合せ先 桜川公民館

☎029-892-2000(内線4103)



裏面に続く



# 楽しいことで集まる公民館

## こども広場



みんなで“とんぼ”



を飛ばそう！

気球の周りに“とんぼ”を作  
って飛ばせよう！

“とんぼ”の材料は公民館にあるよ★  
公民館に遊びに来て、たくさん  
のとんぼを飛ばせてね♪



※壁面は子育て支援センター「あいアイ」で飾ってくれています。

## 公民館で絵馬を書こう♪ =絵馬にお願い=

図書コーナーに  
みんなの書いた絵馬が  
飾ってあるよ！



みんなの願いがたくさん  
増えました♪



ほん へ や  
本の部屋

新しい絵本  
入りました♪



本田の本棚 check !

今月はこの絵本 □

「ノラネコぐんだん」シリーズ

色々やらかすけど憎めない  
「ノラネコぐんだん」  
オチがあって、親子で笑える  
楽しいおはなしです。



出張子育て支援センター「あいアイ」は

## 毎月第2・4 火曜日

会場 桜川公民館 和室  
開設日 毎月第2・4 火曜日  
開設時間 午前10時から正午  
お申込み 子育て支援センター『あいアイ』  
に直接お電話でお申込み下さい。  
持ち物 ・水分補給のための飲み物  
・オムツ持ち帰り用ごみ袋  
・その他家庭で必要と思うもの  
申込先 ☎0297-87-7070

開催日 10月12日・26日

問合せ先：子育て支援センター『あいアイ』

どいちゃんと遊ぼう♪

## にぎやか公園作戦

会場 桜川公民館 東側駐車場  
日時 10月24日（日）  
午後1時から午後4時（雨天中止）  
対象 どなたでも  
※子どもだけの参加は出来ません  
保護者同伴でご参加ください。  
内容 色々な遊びグッズや運動グッズを  
貸し出します。



## 10月の納税

○市県民税 3期  
○国民健康保険税 4期

○介護保険料 4期  
○後期高齢者医療保険料 4期

こんにちは

地域包括支援センターです



## 『エンディングノート』(終活支援ノート)を知っていますか？

人生の最後を見据え、自分らしく生きることを目的とした「終活」という言葉があります。その中でよく耳にするのが『エンディングノート』。「自分のこと」「家族のこと」「財産のこと」「もしもの時のこと」などテーマに分かれ、書き進めるうち自然に自分の思いが整理できるように作られています。思いを伝える手段としてエンディングノートを活用しましょう。

「未来へのメッセージ」と称したエンディングノートを、市役所や桜川公民館等で配布しています。次月号は、エンディングノートの書き方について説明します。

※エンディングノートに法的効力はありません。法的効力を求める場合には、遺言書の作成が必要です。

## 編集後記



読書の秋・食欲の秋・スポーツの秋いろいろな秋がありますが、みなさんの秋は？

編集 M はもちろん食欲の秋！（秋に限りませんが🍡）特に新米が楽しみ♪ご飯で思うことがあります。私が小さいころ「ご飯は左・みそ汁は右・箸は手前」と祖父母や父母に注意されました。ところが最近のTVドラマなどで、それがごちゃごちゃで気になって仕方ありません。同じ方いませんか？